

令和6年度 第1回 北浜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月13日（月） 17:00 から 18:30
- 2 開催場所 北浜中学校 小会議室
- 3 出席委員 古川員巳、柴田義久、大村 仁、藤本正俊、大岡成光
波多信広、原崎佳久
- 4 欠席委員 齋藤千朝、古谷一平（学校支援コーディネーター）
- 5 学 校 岡田芳樹（校長）、水谷裕士（教頭）、鈴木 亮（主幹教諭）
鈴木敬子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 鈴木敬子
- 8 議長の選出
司会から議長の選出について意見を求めたところ、会長から柴田委員が推薦され、全員異議なくこれを承認した。
- 9 熟 議
(1) 本年度の学校経営構想・教育課程について
(2) 本年度の目標について
(3) 夢育やらまいか事業に関する意見書について
(4) いじめ防止等のための基本的な方針について
- 10 会議記録
熟議に先立ち、会長挨拶、校長挨拶及び規則の確認等を行った。
(1) 本年度の教育活動について（校長）
グランドデザインについて、PTA 総会でビデオで説明した。内容と保護者からの質問への回答は「さくら連絡網」にて配布予定。
本年度の具体的な取組として1年生のSDGsに関する学習では、先日商業施設のイベントの企画やダンススクール等をしている方に楽しい講話をしていただき、子供たちの反応も良かった。
実際にどういう活動をしているか子供たちが調べるなど意欲的に学びにつなげてほしい。
また、2年生の職場体験でも学校運営協議会の委員等、地域の方々に協力していただき体験する職場を増やしたい。皆さんからの紹介があると、受け入れ側も学校の取組をより理解してくれ持続可能なものになると思われる。1年生の企業へのインタビューも方法を変えて魅力あるものにしたい。
どうしたら魅力あるものにできるか、学校運営協議会の皆さんに意見を伺いたい。協議会自体の次に進む方向も定まってくるのではな

いかと思う。

保護者からの質問では、定期テストを無くしたことに対する不安がみられた。(特に3年生の保護者)

職員に対しては、評価する機会を短いスパンで持つことで授業をより充実していくことについて話した。あくまでも授業に関わる学習への取組が評価の対象となる。教員の授業への意識は今より以上に高くなる。

- ・テスト週間に向けての取組ではなく日々の取組が問われる。(教頭)

- ・これまでと方法は違うが、評価を行うということは同じではないか。(大岡委員)

→昔ながらのテストのあり方を変えて、評価を単位ごとにする。観点別「知識・技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう態度」などで評価する。テストの点数以外の評価の場面が増える。

- ・テストの点数や発表回数という誰が見てもはっきりわかる評価方法と違うので、保護者は不安に感じている。学びに対する向かい方を誰がどう評価するかははっきりした色分けがないのではないか。しかしながら学びに対する向かい方を評価することは、個人の能力を上げるには有効と思われる。(大村委員)

→先生方もこれまで以上に子供たちの様子をよく見ていると感じる。(校長)

- ・先生方の負担が大変ではないか。(柴田委員)

→この部分は教員がしっかりとやらなければいけない。学びに向かう力も評価するには、これまで以上に生徒を見ることが必要。(校長)

- ・一人一人が中学校3年間の内に一度は「ヒーロー・ヒロイン」になってほしい。そういう経験をしてほしい。(柴田委員)

- ・保護者の心配は、部活動のことにもある。地域全体で取り組むべきであるが、いまだ進んでいない。もっと声を聞いて地域スポーツへの移行そして部活動のあり方を検討してほしい。学校側も考えて地域に情報を流してほしい。IT化が進む中で人との関わりが減っているが、部活動を通してコミュニケーション能力も育てたい。CSとしての検討課題であると思う。(古川委員)

→部活動は、土日の活動がネックである。平日はガイドラインに沿って活動している。土日についても四分割の一コマは活動が可能である。しかし、それ以外の時間について保護者の協力はもちろん地域の方の協力が得られるのか。令和8年度9月以降が土日の部活動の課題となっている。指導についても担ってくれる先生は多いと思

うが、それぞれの事情もあるので一概には決められない。きちんと進めていかなければならない。(校長)

- ・土曜日の午後は保護者がみている部活動もある。(藤本委員)

- ・西部は遅れている。袋井の部活動など他地域では、午前学校、午後公民館で活動するなど定着してきているようである。浜松はまだ受け皿がない。(古川委員)

→旧浜北地区の5中学校はある程度そろうと思う。(校長)

- ・学校の施設が使えるのかについても戸惑っている。(藤本委員)

- ・旧浜北地区では自治会主体で地域活動として校外学習を行うが、旧浜松地域では学校主体で行うなど運営方法が違うため戸惑うことが多い。(大村委員)

- ・吹奏楽部の発表でとても感動したが、部活動に対する子どもたちの思いを受け止めてほしいと願う。(柴田委員)

- ・地域クラブといってもいろんな形がある。部活動ごとなのか、学校ごとなのか、市なのか道筋を与えてほしい。吹奏楽部や太鼓部は土日の活動がないと困るのではないか。(古川委員)

- ・各部活の特性にあった形になってほしい。(波多委員)

→教員それぞれの違い、部活動の内容の違いによっても変わる。近隣の学校で合同チームを作るようにできたら動けるし、指導する教員の不足も解消する。本校でもソフトボール部は土日は合同チームで活動する日もある。(校長)

- ・浜松は、それぞれの学校で参加するのでチーム数が多い。西部地区はまだ少ないが、東部地区はクラブチームが発達しているように感じる。(波多委員)

- ・サッカーに関してはクラブがあり、サッカー協会がまとめている。しかし、クラブチームに入っている子供は在籍校のサッカー部には入れない。(大村委員)

- ・クラブチームに入っている子は学校の他の部活に入っていたが、今は入らずにすぐに帰宅し夕方からクラブチームに行く子もあるようだ。(古川委員)

- ・競技団体が裾野からきちんと組織を組み上げている所はわかりやすく選択もできる。(大村委員)

→今年度水泳部の練習はスイミングスクールで行う計画であるが、学校の水泳部として大会に出ることになる。(校長)

- ・クラブチームに行く子は、放課後友だちと遊べない。(柴田委員)

→近年中学校も教員の家庭事情等で部活動の担当が難しかったり

する。(校長)

・教師も部活動の顧問に就くことについて希望選択制にしたかどうか。(波多委員)

→顧問がいないと部活動によっては存続できないため、お願いして顧問をやってもらう部分もある。(校長)

(2) 夢育やらまいか事業に関する意見書について(教頭)

未来授業や職業講話に講師を招き、教育に生かす機会にしたい。

→委員全員異議なく承認した。

(3) いじめ防止等のための基本的な方針について(教頭)

生徒会主体で計画する全校集会を予定している。

・いじめ防止基本方針の内容について子供たち、保護者も交えて検討したい。受け身ではなく、それぞれが主体的に取り組みたい。

(校長)

・先生同士でいじめの報告はしているか。(波多委員)

→毎週会議をして、情報の共有及び対策をしている。(鈴木 亮)

→委員全員異議なく承認した。

1 1 その他

・今後の予定

第2回 令和6年 7月 3日(水) 13:30から15:00

第3回 令和6年12月 6日(金) 13:30から15:00

第4回 令和7年 2月13日(木) 13:30から15:00